



JFEシビルのサイロ構築スリップフォーム工法

スーパージャッキシステム テクニカルノート

● スリップフォーム工法によるコンクリートサイロの連続施工の特徴

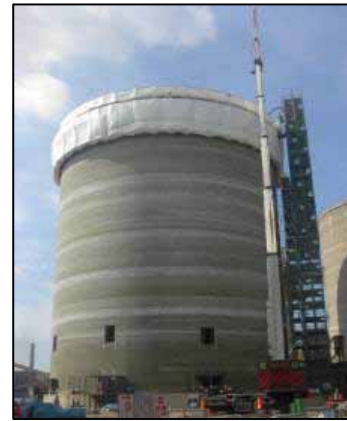
1. 大がかりな足場が不要で効率的。
2. コンクリートの連続打設ができ、工期が短縮できます。
3. ロッドとジャッキにより、安全な作業床の昇降が可能です。



● 火力発電所の石炭サイロ工事



● セメントサイロ工事

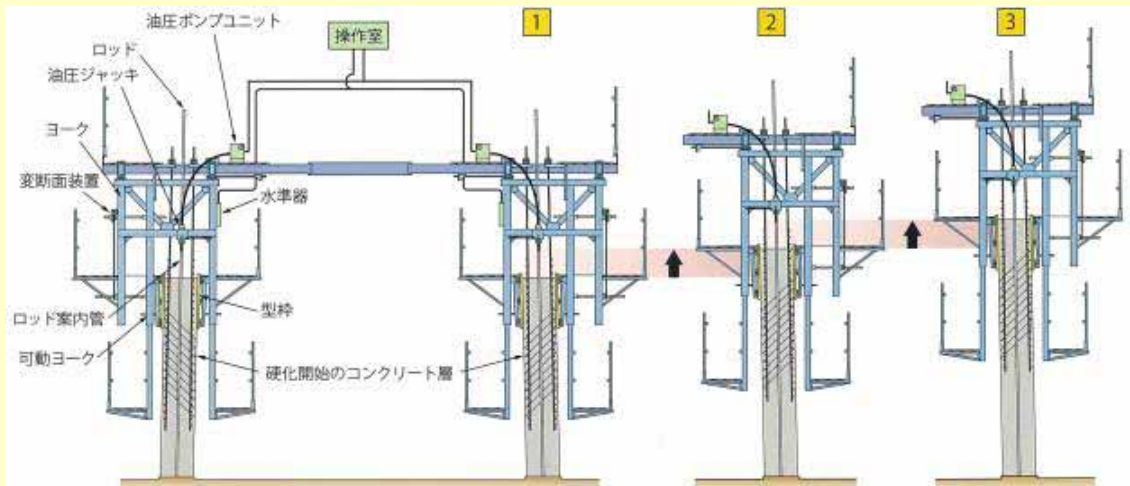


構築イメージ

- 型枠や足場を装着したジャッキがロッドを上昇していくことにより、連続的なコンクリート打設作業が可能です。
- 型枠をスライドさせながらコンクリート壁を構築できるため、ステップ毎の型枠解体が不要で、工期短縮できます。
- 特に、足場の設置が困難なサイロのコンクリート工事で力を発揮します。

両変断面工法の場合

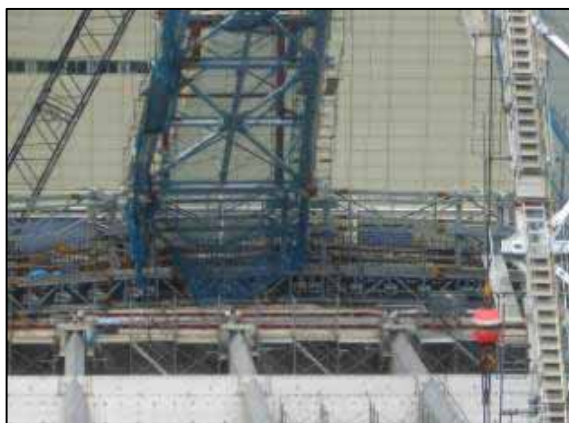
15 ~ 20 cm / 層で打設、打設スピードに合わせ3 ~ 5 cm毎にスライド



● 壁コンクリート構築と同時に屋根をリフトアップ



● ジャッキ周辺作業状況



サイロ基部のスライド装置と屋根鉄骨



壁コンクリート打設状況

● ヨークおよびジャッキ部分



JFE シビル 株式会社

スーパージャッキシステム

〒111 - 0051

東京都台東区蔵前2丁目17番4号 JFE蔵前ビル
都市基盤営業部 特殊工法グループ

TEL 03 - 3864 - 5293

FAX 03 - 3864 - 3735

<http://www.jfe-civil.com/tokkou/index.html>

